

世界は再生資源を含めた獲得競争の時代に突入。経済安全保障、産業競争力の確保の観点から、国内資源循環を強化、資源の海外流出を防止し、資源確保の問題に対応しなければならない。今こそ循環経済への移行を加速し、我が国の「勝ち筋」とすべき。

我が国基幹産業が求める質と量の再生材を安定供給するための再生資源供給サプライチェーンの強靱化は、危機管理投資、成長投資そのもの。責任ある積極財政で官民投資を大胆に進めることが、強く豊かな国づくりに不可欠。循環経済行動計画、日本成長戦略等への反映を。

## 1. 再生資源供給サプライチェーンの強靱化（重要鉱物、金属資源等）

### ①我が国の自律性・不可欠性の向上に向けた「メタルリサイクル推進戦略」

- ・循環経済行動計画に、以下を柱とする「メタルリサイクル推進戦略」を位置付けること。
- ・世界的な資源獲得競争の中でサプライチェーンを強靱化すべく、我が国産業の国際競争力の確保を大前提として、今後、再生材確保に注力すべき重要鉱物、金属資源等について、2030年までの再生材供給の目標を設定すること。その際、以下を目安として検討すること。また、再生資源使用製品の付加価値に関する国際標準づくりに取り組むこと。（マクロアプローチ）
  - 鉄：鉄スクラップを高品位化する処理能力約200万トン/年を追加的に国内で確保
  - アルミ：アルミ展伸材の国内生産量の約4割を再生アルミ原料由来に
  - 銅：国内で生産される銅（電解銅）の約3割を、再生資源由来に
  - 永久磁石：国内供給される永久磁石原材料の約3割をリサイクルで
- ・具体的取組として、短期的対応（技術実証、ヤード規制導入等）、中長期的対応（設備導入支援、ヤード規制・輸出確認の厳格運用等）を整理すること。（ミクロアプローチ）

### ②再資源化拠点構築・ネットワーク形成

- ・投資促進のための経済的支援スキーム（予算面、金融面等）を制度的措置を含め構築
  - ▶ 前処理・保管（備蓄機能を含む）・再資源化・製錬等の拠点整備・ネットワーク形成
  - ▶ 都市鉱山からのレアメタル、レアアース等の製錬・分離精製、解体選別などの技術開発
  - ▶ 資源循環産業の振興（事業規模拡大、高度リサイクルの事業性確保など）
  - ▶ 太陽光パネルリサイクル推進法案とあわせて取り組むリサイクル体制整備、リチウムイオン電池の再資源化、高品質再生プラスチック製造のための高度選別施設の整備
- ・重要鉱物、金属資源等の再生材確保に向け、2030年までに官民で目指すべき投資額を提示

### ③動静脈連携の促進による産業競争力強化

- ・再資源化事業等高度化法に基づく事業認定（3年で100件以上）
- ・改正資源有効利用促進法に基づく再生材利用計画の策定、環境配慮設計の認定推進
- ・使用済物品（鉄スクラップ、永久磁石等）の回収・選別、再資源化、利用に係る実証など
- ・容器包装リサイクル制度での動静脈連携による高品質プラ製品製造に係る推進枠等の創設

### ④循環資源の海外流出の抑制

- ・不適正スクラップヤード対策、使用済物品の輸出確認制度と国内再生原則（廃棄物処理法等改正案）の創設等により、金属スクラップ等の国内資源循環を促進、海外流出を抑制

### ⑤再生材の需要拡大

- ・製品製造に当たっての段階的な再生材利用の数値義務化とインセンティブ創出など

## 2. 日本をハブとする国際資源循環ネットワークの構築

- ・G7、日米、クアッド、日ASEANなどの同志国の連携枠組の深化
- ・ASEAN主要国に対するE-waste/バッテリーの回収・解体等に関する法令整備等の支援など

## 3. 資源循環に係る主体間連携・情報開示の推進、社会的気運の醸成

- ・「GREEN×EXPO2027」等を活用した社会的気運の醸成など